

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ウロボロス	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	UGNエージェント
オプション		年齢	27	性別	男
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	41%
出自	天涯孤独	経験	敵性組織	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	0	1	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 遺産	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
影蛇の剣	白兵	4r-2	3	7		
黒曜石のナイフ	白兵	4r-1	1	12		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
(遺産の器) 遺産継承者: 黒曜石のナイフ	P 遺志	N 隔意		
強羅瑠璃	P 信頼	N 脅威		
ヴァイス	P 親近感	N 恐怖		
コーディリア	P 懐旧	N 不信心		
ASCII	P 有為	N 猜疑心		
シスター	P 遺志	N 憐憫		
タナトス	P 遺志	N 敵愾心		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラムストーカー	2	2	Xジャー	-	-	-		
効果: C値-lv								
原初の紫:復讐の刃	2	7	オート	至近	単体	対決		
効果: 反撃								
鮮血の一撃	3	2	Xジャー	-	-	対決		
効果: ダイス+[lv+1]HP2消費								
鮮血の奏者	1	4	セット	至近	単体	自動		
効果: ラウンド中攻撃力+HP*3点								
赤河の支配者	5	2	オート		自身	自動		
効果: HPダメージを-[1D+lv*2]軽減する								
原初の黒:物質合成	1	6	Xジャー	至近	単体	自動		
効果: 同じ技能の武器防具を破壊し融合								
サンギン	1							
効果: hp消費を+5点して算出								
赤河の紅玉	2							
効果: 赤河の支配者の軽減に+2d								
影蛇の剣	3		攻撃7		命中-2	ガード3		
効果: 加を組み合わせた時に射程:視界								
スネークスキン	5							
効果: 装甲4 HP最大値+10								
闇夜の烏	★							
効果:								
ブラッドリーディング	★							
効果:								
生命治癒	★							
効果:								

「残念ながらお前にくれてやる血は無い」  
遺産継承者であり元FHのUGNエージェント"オブシディアン"

その場に任せた行動をしがちだが、場の雰囲気や善悪ではなく己の価値観にそった行動をするタイプ。他人に理由を求めない人間。元FHという経歴や世間のオーヴァードに対する反応もあって、エフェクトの力を使うことにあまり抵抗がない。頭の回転は悪くないが、長時間思考することが苦手。また皮肉を皮肉として受け取れないことがある

生まれてから両親が早い段階で離婚、どちらも面倒を見れないと施設に預けられた。そのせいか、人に噛みつくことが多く無事不良としてグれて行った。気の合う仲間とつるみ、たまに喧嘩をしたりしながら過ごしていたあるとき、他校の番長の彼女と関係を持ってしまい集団リンチにあう。半殺しどころか、やり過ぎてほぼ死んでしまっている状態にまでなったが、裏社会と関わりがあると自称する友人の紹介する病院に運び込まれ一命を取り留める。その病院がFHと関わりがあり、輸血された血がオーヴァードのものだったためこのタイミングで覚醒している。

ICUIに運び込まれるほどの重態だったが、いつのまにか完治。色々怪しまれFHに連行、説得に乗せられそのままセル【ユーバーメンシュ】の一員となった。(オーヴァードが選ばれた人間であること、力のことなど自己肯定感が高くなりそうなことを言われてホイホイついて行った。)ユーバーメンシュはレネゲイドウィルスによる超人思想を元に活動する組織であり、オーヴァードに覚醒しやすい条件や手法の研究を行っていた。道具の形をとったオーヴァードとも言うべき遺産については研究が盛んに行われ、いくつかの事件も起こしている。

その後ヴァイスの活発化やセルの縮小、統合によりユーバーメンシュは研究成果を引き継ぎつつも名を変え【ミソグラフィ】として再構成された。

ヴァイスを信奉するセル【ミソグラフィ】。自信をヴァイスと同等の存在にする、もしくはヴァイスと融合するという目的のために活動するセル。

